

民主化闘争情報

No. 844
2011年12月9日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

12月5日の衆議院予算委員会で自民党の河井克行議員が質問に立ち、JR総連・東労組への革マル派浸透問題について多岐にわたり政府の見解を問い質した。

衆議院予算委員会で追及されるJR総連革マル浸透問題Vol.1 山岡国家公安委員長が政府答弁書の閣議決定に介入？

JR総連・東労組への革マル派浸透問題は、今年2月の第177通常国会において、再三にわたり取り上げられ、大きな政治問題となっている。今回の質疑で河井議員は、JR総連推薦議員懇談会の代表を務める山岡賢次国家公安委員長と同労組との関係などを中心に、NHKが全国放映する中、多岐にわたって政府の見解を問い質した。今後の民主党政権による同問題の徹底解明を強く求めたい。

質疑の概要は以下のとおりである。

(河井議員) 山岡大臣は、今までJR東労組の定期大会にお行きになり、来賓挨拶などをされたことはありませんか。

(山岡国家公安委員長) 大臣挨拶はしたことはありません。来賓挨拶はしたことがあります。

(河井議員) 2010年6月13日、東京ベイ幕張ホールでの第26回JR東労組定期大会で間違いのないですね。お答えください。

(山岡大臣) 正確な記憶はありませんが、選挙の応援で行ったというような覚えがあります。

(河井議員) ここにそのメモがあります。ここではこうおっしゃっている。自民党の同僚の栃木4区の佐藤勉さんが提出した質問主意書。その質問主意書というのは、革マル派によるJR総連及びJR東労組への浸透に関する質問主意書であります。これについて先ほどお話があったが、「内閣に対して質問主意書ということを出せることになっているが、これはJRさんへの攻撃であると同時に私への攻撃でもある。そんなことは十分覚悟の上で、この対応についても内閣に対して強く抗議を申し上げた。何をやっているんだと、こう申し上げたら、何となくボソボソボソボソ答えていたが、その答えによれば、質問主意書というのはある程度機械的に処理をしており、警察がそれに対する担当としての答えを上げているのだと。しかし、内閣でキチンと把握しているのだらうと、こう申し上げたら、最終的にはその扱う大臣、つまり警察を担当している大臣になるわけだが、特に名前は申し上げないが、西の方にいらっしゃる大臣さんであるわけでございまして、そういうことで今後こういうことは十分に注意するようにと、こういうふうに申し上げた」と書いてあるんです。内閣の決定、すなわち閣議決定に自分自身が介入した、自分が内閣に対して影響力があることを自慢している発言ですよ。山岡国家公安委員長、ご自分の発言だとお認めになりますね。

(山岡大臣) あの、選挙中にですね、色々なことは話しますが、しかしですね、実際にそのことを政府に圧力をかけるだとか、また影響力を及ぼすというようなことはしておりません。

(河井議員) しからばですね、これ、全くもって、山岡大臣が何も仕事をしていないのに仕事をしたフリをした疑いも出てきたわけですよ、これ。今、予算委員長もしっかりと頷いていらっしゃる。これ、予算委員長の名誉にも関わる問題ですよ。このメモにはちゃんと書いてある。もう一回言いますよ。「その扱う大臣、つまり警察を担当している大臣、特に名前を申し上げないが、西の方にいらっしゃる大臣さんであるわけでございまして、今後そういうことを十分注意するようにと、こういうふうに申し上げておいた」。お答えください。

(山岡大臣) 申し上げた記憶はありません。

(河井議員) ですから、このテープをしっかりとこれちゃんとやってくださいよ。ちゃんと理事会で聞いてください、委員長。理事会で聞いて、私の言っていることが事実なんだから。私の言っていることと大臣の言っていること、どっちが正しいか、キチンと照合していただきたい。

(中井予算委員長) 理事会で協議いたします。